

誤植訂正

- p.62, 第 1 行, “prevpreg” : ”prev-preg”
- p.134, 図 3.15, “ 図 3.13 に示す DAG” : “ 図 3.14 に示す DAG”
- p.135, 下から第 8 ~ 5 行,

$$priority(n) = \begin{cases} delay(n), & \text{if } n \text{ is a leaf} \\ delay(n) + \max_{(m,n) \in E} (priority(m)), & \text{otherwise} \end{cases}$$

この式は次のような意味である。もしノード n が葉なら、優先度はそのノードの命令の遅延である。そうでなければ、 n から出る各エッジの先のノードの優先度の内、最も大きな優先度に n の遅延を加えたものである。

以下のように修正する：

$$priority(n) = \begin{cases} latency(n), & \text{if } n \text{ is a leaf} \\ \max_{(n,m) \in E} (delay(n, m) + priority(m)), & \text{otherwise} \end{cases}$$

この式は次のような意味である。もしノード n が葉なら、優先度はそのノードの命令のレイテンシである。そうでなければ、 n から出る各エッジのラベル（遅延）にその先のノードの優先度を加えたものの内、最も大きなものである。

- p.163, 下から 4 行, “をとする” : ”とする”
- p.212, 第 4 行,
A. V. エイホ, R. セシィ, J. D. ウルマン, 原田賢一訳：コンパイラ I/II — 原理・技法・ツール —, サイエンス社（1990 年）

（訳者名を含め）著者名の後の”.”を”,”にする。参考文献中の日本語文献名全てについて同様の修正を行う。